

ENRICO ELISI

Pianist, Associate Professor of Piano, University of Toronto



エンリコ・エリジは、今日のコンサートシーンで最も情熱的なイタリア人ピアニストの一人として地位を確立しており、その優雅さ、洗練された美しさ、そして幻想性を極めた演奏は高く評価されています（ラ・ヌエバ・エスパーニャ紙）。アメリカ、ヨーロッパ、アジアの各地で定期的に演奏会を開き、その解釈には「驚くべき感受性、想像力、そして洗練さ」（ボルチモア・サン紙）が見られ、高い評価を得ています。ヴェネツィアのフェニーチェ劇場、フィレンツェのヴェッキオ宮殿、マントヴァのビビエナ劇場、モデナのパバロッチョオペラハウスなど、歴史的な舞台にも出演しています。最近では、バンフ芸術センター、カーネギーホールのワイル・ホール、ニューヨーク公共図書館、ニューヨークのモルガン図書館、ワシントンのナショナルギャラリー、イタリア大使館、ペルーのリマにあるセントロ・カルチュラル・デ・エスパーニャなどでも演奏しています。また、アメリカ、イタリア、ポルトガルでいくつかのオーケストラと共演し、室内楽奏者としてはタオス・フェスティバルやラヴィニア・フェスティバルにも参加しました。エリジのリサイタルは、アメリカやヨーロッパのラジオやテレビ番組で放送されています。また、ヴェネツィア国際コンクール（イタリア）やオポルト国際コンクール（ポルトガル）で最高賞を受賞しています。新しい音楽の擁護者であるエリジは、多くの作曲家に作品を委嘱しており、ポール・チハラの「Two Images」をワイル・ホールで初演した（後にアルバニー・レコーズに録音）。最近では、モーツァルトのソナタや短編作品を収録したアルバムをリリースしています。また、バッハのパーティータとプレリュードのリリースも予定されています。現在、トロント大学の准教授であり、イーストマン・スクールなどでも教鞭をとっていました。また、世界各地で数多くのマスタークラスを開催し、多くの音楽祭や審査員としても活躍しています。彼の音楽的ルーツの豊かな伝統は、ポローニャとフィレンツェの音楽院、イタリアの有名なイモラ国際アカデミー、そしてアメリカのピーボディ・インスティテュートにまで遡ることができます。また、レオン・フライシャー、ラザール・バーマン、アレキサンダー・ロンキチ、ボリス・ペトルシャンスキー、フランコ・スカラ、ジュゼッペ・フリチェッリなどの指導者にも恵まれました。

エンリコ・エリジは、スタインウェイ・アーティストです。

WWW.ENRICOELISIPIANO.COM

ENRICO.ELISI@UTORONTO.CA